

GRS-7029-2104

パイロノックCC

耐熱・耐水性ウレア系グリース

近年、各産業界では省エネルギー・省力化を図るためにグリースの検討が重要視されています。そして従来の汎用グリースとしてのリチウム系グリースを上回る性能を有するウレア系グリースの優位性が理解されつつあります。パイロノックCCは増ちょう剤としてウレア系有機化合物を、基油として高度精製鉱油を用い、厳選された添加剤などを配合したグリースです。パイロノックCCは、特に優れた耐熱性・耐水性を要求される製鉄・製紙他の産業機械に最適のグリースです。

●特長

1. 潤滑寿命が長い

パイロノックCCは、ウレア系増ちょう剤を使用し、各種添加剤を配合することにより従来の汎用リチウム系グリースに比べてはるかに長時間の潤滑寿命を有します。省エネルギー・省力化に大きく貢献できます。

2. 耐熱性が良い

パイロノックCCは、広範囲の温度（-20～200℃）に使用できます。とくに短時間では230℃（連続給脂の場合）の使用にも耐え、従来のリチウム系グリースよりはるかに高温特性が優れています。

3. 灰分が少ない

無灰系のウレア系増ちょう剤を配合しているため、燃焼残さがほとんど生成しません。

4. 耐水性に優れる

パイロノックCCが使われる生産機械には、大量の冷却水がつきものですが、耐水性に優れることから、水による軟化や流出の心配がありません。

5. 耐プラッキング性が良い

パイロノックCCは、プラッキング現象を起しにくいので集中給脂に適しています。

●用途

パイロノックCCは次のような潤滑個所に最適です。高熱および冷却水にさらされる各種産業機械：連続鑄造設備、熱間圧延機など製鉄機械、製紙機械、板ガラス製造機、乾燥炉、加熱炉、焼却炉など

●荷姿

180kgドラム、16kgペール缶

●パイロノックCCの代表性状

種類	0	1
増ちょう剤	ウレア系化合物	ウレア系化合物
外観	淡黄色半固体	淡黄色半固体
基油	鉱油, 31.4	鉱油, 31.4
増ちょう度 (25℃, 60回混和)	380	318
混和安定度 (25℃, 10万回混和)	394	338
滴点	250以上	260以上
離油度 (100℃, 24h)	3.1	1.9
蒸発量 (99℃, 22h)	0.2	0.2
酸化安定度 (99℃, 100h)	10	10
銅板腐食 (100℃, 24h)	変化なし	変化なし
水洗耐水度 (79℃, 1h)	3	0
ASTM軸受防錆性試験 (52℃, 48h)	評点1 (さび発生せず)	評点1 (さび発生せず)
使用可能温度範囲 (目安)	-20～200	
消防法危険物分類	非危険物	

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2011年8月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、増ちょう剤、潤滑油添加剤
絵表示：	 
注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 臓器(血液系)の障害のおそれ
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。・眼に入れないこと。飲み込まないこと。・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。・取り扱い後はよく手を洗うこと。・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。・汚染された衣類を脱ぐこと。・皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。・施錠して保管すること。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。